

病院の実力「睡眠障害」

医療機関別2022年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (人)	終夜睡眠ポリグラフィの 精密検査 (件)	CPAP治療 (人)	マウスピース治療 (人)	常勤の専門医、歯科専門医 (23年5月現在)
埼玉					
埼玉医大	202	125	387	7	1
戸田中央総合	128	48	524	0	0
独協医大埼玉医療セ	94	73	450	0	1
すなおク	36	81	181	25	1
平沢スリープ・メンタルク	31	36	98	2	2
草加市立	31	0	7	0	0
埼玉医大かわごえク	0	0	0	0	1
群馬					
赤城	68	55	65	—	1
長島歯科・矯正歯科	42	0	0	39	1
千葉					
奏の杜耳鼻咽喉科ク	862	114	312	287	1
千葉大	801	29	154	0	0
国際医療福祉大成田	176	75	190	12	2
帝京大ちば総合医療セ	145	25	104	29	1
市川メンタルク	5	0	40	2	1

「セ」はセンター、「ク」はクリニック、
「—」は無回答または不明

全国の調査結果は16日の
「安心の設計」面に掲載し
ました。

病院の
実力

～埼玉編 183

今回は睡眠障害を取り上げる。一覧表には、2022年の睡眠障害に関する検査や治療件数などの実績を示した。

睡眠障害

不眠症状 専門医受診を

睡眠障害は、不眠症、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、代表的な過眠症であるナルコレプシーなど約70種類に分かれている。

閉塞性睡眠時無呼吸症候群は、口や鼻と肺をつなぐ気道が睡眠中にふさがる疾患で、夜間の激しいいびきや

一時的に呼吸が止まる症状が特徴だ。日中に強い眠気や疲労感を伴うため、仕事や勉強の効率低下や、居眠り運転による交通事故を招く恐れもある。国内で900万人以上

に中等度以上の症状がある」とされ、放置すると高血圧や糖尿病などのリスクも高くなる。

診断のためには、終夜睡眠ポリグラフィ検査(PSG)が使われる。まずは自宅で眠っている間の酸素飽和度を測る簡易検査を行う。無呼吸や低呼吸の回数が多い場合は、医療機関に泊まって脳波や睡眠の深さを計測する精密検査を行うことが一般的だ。

軽症の場合は「マウスピース治療」、中等症以上の場合には、鼻に装着したマスクから空気を送り込んで気道を確保する「CPAP治療」が中心で、国内で約60万人が受けている。

国内では、成人の20～30%に不眠症状があるとみられているが、「日中眠くなる」などの症状がでて、病氣だと思わず、医療機関を受診しない患者も多い。診療は精神科や歯科、耳鼻咽喉科や呼吸器科など幅広い診療科で受け持っているので、専門医がいる医療機関を訪ねてほしい。

不眠症状 専門医受診を

病院の実力

～静岡編 188

睡眠障害

今回は睡眠障害を取り上げる。一覧表には、2022年の睡眠障害に関する検査や治

病院の実力「睡眠障害」
医療機関別2022年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (人)	終夜睡眠ポリグラフィの 精密検査 (件)	CPAP治療 (人)	マウスピース治療 (人)	常勤の専門医、 歯科専門医 (23年5月現在)
静岡					
磐田メイツ睡眠ク	405	609	1899	81	1
協愛医院耳鼻咽喉科・ 気管食道科	143	133	477	0	3
熱海所記念	32	0	32	0	0
順天堂大静岡	6	20	179	0	1
愛知					
藤田医大ばんだね	451	524	125	53	1
藤田医大	284	593	440	25	2
はっとり耳鼻咽喉科	227	272	66	59	1
大竹耳鼻咽喉科	189	283	348	—	1
名古屋市大	※162	166	※110	※15	2
公立陶生	100	80	445	9	1
名古屋大	48	94	45	0	3
かゆかわク	35	0	122	5	1
一宮西	3	0	286	—	1
西村歯科医院	3	0	0	2	1

「ク」はクリニック、「—」は無回答または不明
※睡眠医療センターの実績のみ

全国の調査結果は16日の「安心の設計」面に掲載しました。

療件数などの実績を示した。睡眠障害は、不眠症、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、代表的な過眠症であるナルコレプシーなど約70種類に分かれている。

閉塞性睡眠時無呼吸症候群は、口や鼻と肺をつなぐ気道が睡眠中にふさがる疾患で、夜間の激しいいびきや一時的に呼吸が止まる症状が特徴

だ。日中に強い眠気や疲労感を伴うため、仕事や勉強の効率低下や、居眠り運転による交通事故を招く恐れもある。国内で900万人以上に中等度以上の症状があるとされ、放置すると高血圧や糖尿病などのリスクも高くなる。

診断のためには、終夜睡眠ポリグラフィ検査(PSG)が使われる。まずは自宅で

眠っている間の酸素飽和度を測る簡易検査を行う。無呼吸や低呼吸の回数が多い場合は、医療機関に泊まって脳波や睡眠の深さを計測する精密検査を行うことが一般的だ。

軽症の場合は「マウスピース治療」、中等症以上の場合は、鼻に装着したマスクから空気を送り込んで気道を確保する「CPAP治療」が中心で、国内で約60万人が受けている。

国内では、成人の25～30%に不眠症状があるとみられているが、「日中眠くなる」などの症状がでて、病気だと思わず、医療機関を受診しない患者も多い。診療は精神科や歯科、耳鼻咽喉科や呼吸器科など幅広い診療科で受け持っているため、専門医がいる医療機関を訪ねてほしい。